

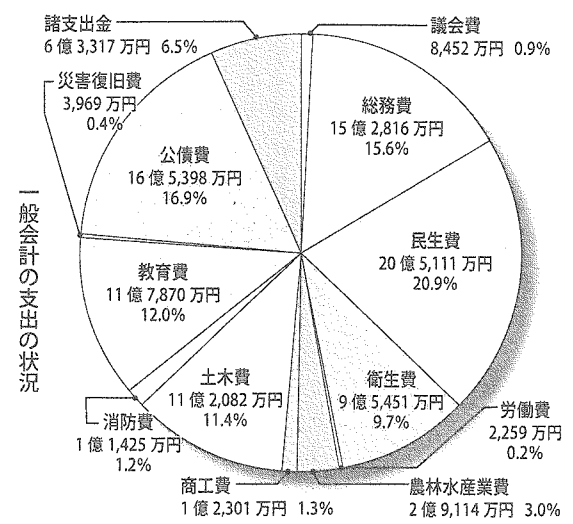


町の決算

平成20年度

- ### 用語の解説
- 議会費…議会の活動に要する経費
 - 総務費…全般的な管理事務、徴税事務、住民窓口事務など町が通常必要とする総合的な事業費
 - 民生費…子育て支援や高齢者福祉、障害者福祉など
 - 衛生費…各種予防接種や健康診断、母子保健、公害対策、環境衛生など
 - 農林水産業費…農林道の管理や農林業の振興、農業委員会経費など
 - 商工費…商工業や観光の振興など
 - 土木費…町道や河川、町営住宅の維持管理など
 - 消防費…消防団活動経費や防火水槽の設置など
 - 教育費…学校教育費、生涯学習費、生涯スポーツ費など
 - 公債費…借入金(町債)の元金や利子の支払い

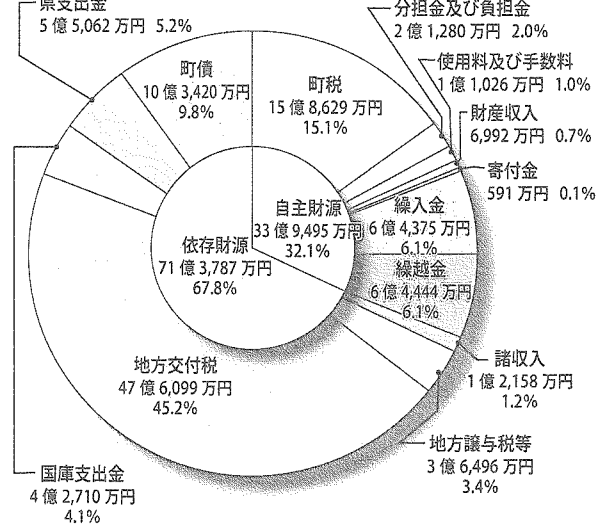
一般会計歳出 97億9,565万円



一般会計の支出の状況

昨年度と比較し、教育費については西嶋分館建設事業等により1億0839万円の増、諸支支出金についてはまちづくり振興基金の新設により2億0383万円の増となり、民生費については身延福祉センターの完成により2億9621万円の減、土木費については町営柿島団地建設事業及び町単独事業の翌年度繰越により1億2152万円の減となりました。これらが主な要因となり歳出全体では3億7079万円の減となりました。

一般会計歳入 105億3,282万円



- ### 用語の解説
- 【自主財源】…町が自主的に収入できる財源
 - 町税…町民の皆さんに納めていただいた税金(町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税)
 - 繰入金…基金や特別会計から一般会計へ繰り入れたお金
 - 繰越金…前年度から繰り越したお金
 - 【依存財源】…国や県から交付される財源など
 - 地方譲与税等…国税として徴収した租税を国が一定基準により町に譲与する地方譲与税の他、地方消費税交付金や自動車取得税交付金などの各種交付金
 - 地方交付税…国の所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のそれぞれ一定割合の額が、基準に基づいて国から町へ交付されるお金
 - 国庫・県支出金…町が行う特定の事務事業に対して国(県)から交付される補助金、負担金、委託金など
 - 町債…事業などを行うために国や金融機関などから借り入れたお金

一般会計・特別会計の状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	10,532,819,267	9,795,654,978	737,164,289
特別会計	7,482,308,793	7,431,448,203	50,860,590
国民健康保険	1,993,079,620	1,991,363,067	1,716,553
老人保健	278,160,787	277,363,090	797,697
高齢者医療	419,303,399	417,436,719	1,866,680
介護サービス事業	1,783,358,492	1,766,958,396	16,400,096
下水道事業	5,803,438	5,803,438	0
農業集落排水事業	902,439,326	885,128,592	17,310,734
青少年自然の里	39,087,652	39,087,652	0
青少自然の里	2,008,511,026	1,999,020,546	9,490,480
湯温泉事業	40,812,718	40,812,718	0
大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区	6,485,246	5,683,134	802,112
広野村山外九山恩賜林保護財産区	364,893	329,103	35,790
第一日影みそね沢恩賜林保護財産区	894,325	732,246	162,079
第二日影みそね沢及び石原外二山恩賜林保護財産区	197,544	51,655	145,889
大久保外七山恩賜林保護財産区	281,468	148,783	132,685
仙王外五山恩賜林保護財産区	517,262	121,684	395,578
姥草里外七山恩賜林保護財産区	433,316	242,211	191,105
西ヶ岳外二山恩賜林保護財産区	737,671	469,444	268,227
入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区	652,021	256,915	395,106
財産区	586,273	209,330	376,943
河内地区財産区	188,716	6,000	182,716
下山区財産区	215,356	146,000	69,356
合	198,244	77,480	120,764
合計	18,015,128,060	17,227,103,181	788,024,879

9月定例議会において、平成20年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を報告いたしました。本町において、これらの比率は国が示す早期健全化基準を下回り良好であります。

しかし、実質公債費比率は比較的高い比率であり、厳しい財政状況には代わりがありません。引き続き歳入では自主財源の確保を図るため、町税等の徴収率向上に一層の努力をし、歳出においては経常経費の削減に努めてまいります。

平成20年度の主な普通建設事業

- 【一般会計】
 - 農林水産業費
 - 農業用施設整備事業 3,597万円
 - 土木費
 - 町道維持工事 3,351万円
 - 町道改良舗装工事 9,809万円
 - 町営住宅柿島団地建設事業 2億9,677万円
 - 町有相又団地購入事業 4,390万円
 - 消防費
 - 耐震性貯水槽整備事業 2,546万円
 - 教育費
 - コミュニティ公園建設事業 2,683万円
 - 中富地区公民館西嶋分館建設事業 1億4,722万円
- 【特別会計】
 - 簡易水道事業特別会計
 - 身延中央簡易水道事業 2億3,725万円
 - 下部簡易水道事業 1億4,401万円
 - 北部簡易水道事業 7,758万円
 - 農業集落排水事業等特別会計
 - 浄化槽設置整備事業 2,206万円
 - 下水道事業特別会計
 - 中富処理区整備事業 4,089万円
 - 身延処理区整備事業 12億4,414万円
 - 下部処理区整備事業 2億9,262万円

一般会計の歳入の特徴

昨年度と比べ歳入全体では2億7806万円の減となりました。減額の要因としては、平成19年度に竣工した町営住宅柿島団地建設事業

- 平成20年度末地方債残高
 - 一般会計分 112億1,884万1千円 (1人あたり71万8千円)
 - 特別会計分 75億4,627万5千円 (1人あたり48万3千円)
 - 平成20年度末基金残高
 - 一般会計分 37億8,737万円 (1人あたり24万2千円)
- ※1人あたりの金額は、15,627人(H21.3.31現在人口)によります。

決算の概要

平成20年度の身延町一般会計と22の特別会計の決算が、9月定例議会場で慎重に審議され、認定されました。

本決算は、合併から4年目の決算であり、「安らぎと活力あるひらかれたまち」を将来像として第一次総合計画や行政改革プランに基づき「地域協働でつくる身延のまちづくり」をスローガンとして事業を展開しました。

と身延福祉センター建設事業等に係る財源がその大部分を占めています。また、現在の経済状況の影響を受け地方税・地方譲与税・交付金等は4千万円の減となっており、地方交付税は、算定方法の改正により1億5千万円の増となりました。